

# 許斐山 (このみやま)

福岡県 宗像市・福津市 2025年 2月13日

## 三座 (許斐山・千歩山・尾立山) 低山縦走



許斐山(このみやま)山頂から眺める宗像四塚の稜線

### 本日のコース <全行程 3時間26分>

吉原登山口駐車場 9:48 → 吉原登山口 9:49 → 八並東への分岐 10:21 →  
千歩山への分岐 10:25 → 尾立山への分岐(通過して千歩山へ) 10:31 →  
千歩山 10:42 → 尾立山への分岐 11:04 → 尾立山 11:12 → 金魚池 11:37 →  
許斐山 11:45 <昼食> 12:38 → 八並東への分岐 12:48 → 吉原登山口駐車場 13:14

許斐山は一昨年歩いたが、今回は福津市側の吉原登山口から取り付いた。山頂までは40分程度のように物足りなかったのが、今回は千歩山と尾立山へも立ち寄り、低山三座縦走となった。この日、お天気は良かったが北風が冷たく歩いてもなかなか身体は温まらなかった。



吉原登山口駐車場 9:48 先着車は自動車 2 台と自転車2台だった



駐車場のすぐ横にはトイレがあった



許斐山登山道のごあんない

### 許斐山ひとくち歴史

許斐山は福間町と宗像市の境にあり、約1000年ほど前に宗像大宮司家が許斐館を築いて以来の歴史のある山で、周辺には数多くの史跡があります。

登山道は福間町側と宗像市側とがあり、福間町側の八並区吉原登山口から頂上までは約40分で登ることができ、手軽に楽しめる登山コースとして親しまれています。

頂上からの眺めはすばらしく、遠くは玄界灘まで見渡すことができます。また、頂上には王子神社があり、宗像側の登山道を下っていくと熊野神社や六の宮があります。許斐氏の家系に「天慶年中(938～947年)、初代宗像大宮司清氏の次男氏章が許斐の姓を賜り、宗像郡大丸村(宗像市王丸)に城を構えて居住した。以来、後の山を許斐山という」とあり、この時、許斐山城が築城されました。そして許斐山氏章居住から約500年後、享禄2(1529)年に宗像の重臣占部豊安が、この山が天然の要害であり、宗像大社にも近いことから、時の守護大名大内義隆に久しく廃城になっていた許斐山城の再興を願い出て再び築城しました。

その後55年間、許斐山城は堅固な要害として豊後から筑前に進出してきた大友氏の軍勢の前にたちはだかり、その威容を誇っていました。

<説明標識より>



吉原登山口 9:49 山頂まで1.2km



火の用心のプレートを通過 9:53



ベンチの横に常連さんによる生け花だろうか？ 10:01 登山道が華やかに！



この祠は？ 麻生重氏と名前があるが…。  
大友方の武将麻生重氏のお墓のようだ。



長い階段の横に森林浴100選のプレートを見つけた！ 10:03



このプレートはH師匠のデザインである。以前、県が募集した森林浴のテーマに応募したH師匠のデザインが見事選ばれて、このプレートが出来上がったと聞いている。



八並東への分岐 10:21



八並東方面に向かって千歩山と尾立山を目指す！



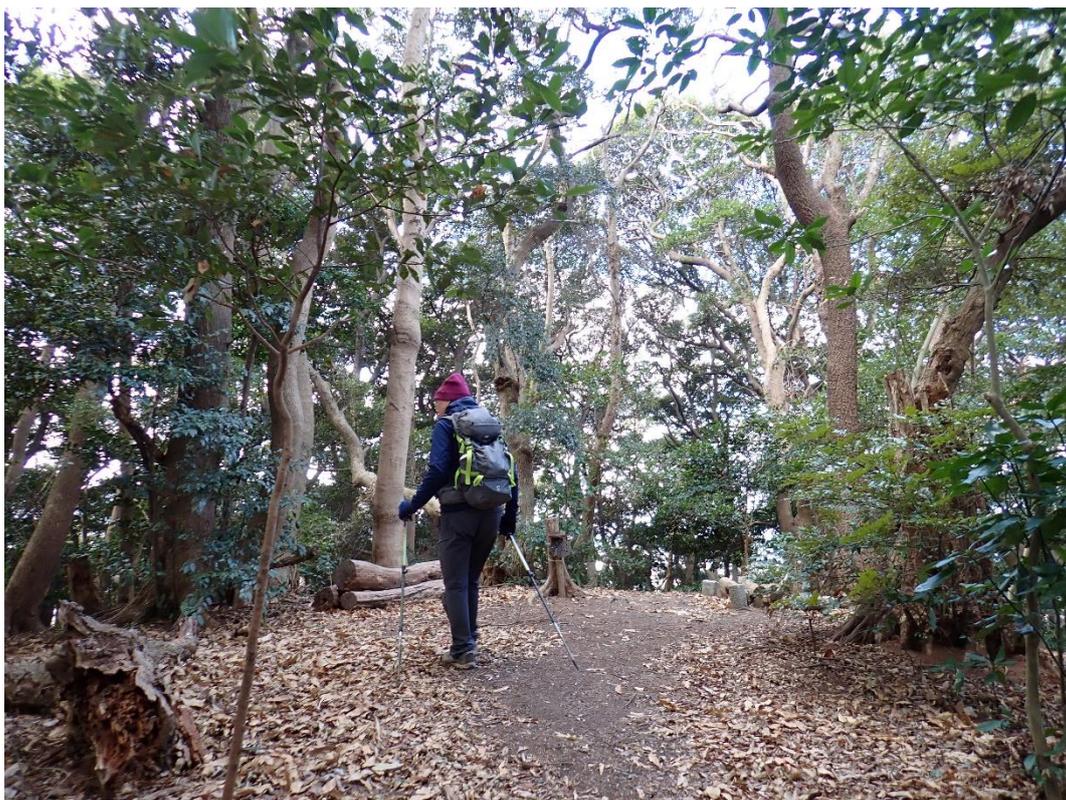
千歩山への分岐 10:25



時折ゴジラの背中のような樹皮の大木が現れる…この木はスダジイ？



尾立山への分岐(通過して千歩山へ) 10:31 尾立山は千歩山の後に行くことにした



千歩山 10:42 200m 展望なし



千歩山の頂上を踏んで回れ右。尾立山に向かう。



尾立山への分岐 11:04

先程通過した尾立山への分岐へ戻り、ここから尾立山を目指す！



尾立山 11:12 241m 展望なし  
大木に囲まれた山頂は雰囲気がありパワースポットのようにも感じた



登頂記念写真



尾立山山頂碑



大木にキコブダケ？



尾立山から最終目的の許斐山を目指す！ 11:30



金魚池 11:37 この窪地の水は干上がっている



許斐山城の用水池で金魚がいたといわれる



許斐山 11:45 271m 登頂して王子神社の後ろの岩場に腰を下ろす



許斐山山頂碑



山頂で記念ツーショット



王子神社

857年に熊野権現の奥宮として勧請されたもので素戔鳴尊が鎮座されている。今では唯一の宗像大社境外直轄摂社であり、例祭は4月3日で古くから厳粛な祭儀が営まれている。現在の石祠は明治18年に建立されたものである



## 王子神社

この王子神社は、天安元丁五年(857)に熊野権現の奥宮として勧請されたもので素戔鳴尊(すさおうのみこと)が鎮座されている。

今では唯一の宗像大社境外直轄摂社であり、例祭は4月3日で古くから厳粛な祭儀が営まれている。現在の石祠は明治18年に建立されたものである。

また、この王子神社前には宗像郡内の人々に午前、午後の刻を知らせる鐘楼があったと伝えられる。外敵の侵攻に備え自軍の士気を鼓舞したりするために建立されたものである。

また吊るされた鐘の高さは1m39cm、重量は754キロもあり、龍の頭の形をした「つりて」が200余もあったということである。

これは、79代宗像大宮司代貞が病氣平癒祈願のために大阪の鋳物師に作らせ宗像大社に奉納されたものが、鐘楼建立にあつて刻を知らせる鐘となったといわれる。

又、この西南100mの地には城中の生活用水を賄った金魚池の跡も残っている。

<説明標識より>



宗像四塚がクッキリ見える。16年前、T師匠と雨の中を縦走したことを思い出す。  
(左から 湯川山～孔大寺山～金山～城山)



山頂広場にある記帳所



山頂で宗像四塚を見ながら昼食タイム



昼食を終え、宗像四塚に別れを告げて下山開始 12:38



八並東への分岐 12:48 右へ



吉原登山口駐車場 13:14 ゴール

3時間26分の山歩きが無事に終了  
低山ながら3座を縦走！  
スマホの歩数計は9923歩。T師匠お世話になりました。  
お疲れさまでした。